

# 「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」<sup>ニュース</sup>49・50 合併号

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会  
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階  
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180  
E-Mail [esm-hq@eco-texj.co.jp](mailto:esm-hq@eco-texj.co.jp)

秋冷の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回は研究フォーラム・ニュース 49・50 合併号を配信させていただきます。

---

---

7月9日金曜・第43回フォーラムセミナーが、9月9日木曜 第44回フォーラムセミナーがそれぞれ開催されました

---

---

7月9日金曜・第43回フォーラムセミナーでは、近藤事務局のご挨拶のあと、

ファッションリンクス代表でありアパ産協・顧問の福永成明氏から「ファッションとエコ」についてご講演をいただきました。



同氏はこのセミナーの数日

前、7月4日にファッションビジネス学会の複数の研究部会により文化女子大で開催された「Refashion2010 TOKYO 0704」の実行委員長つとめられました。この会は、日本繊維新聞の記事によれば、タンスに眠る衣類に“新たな輝きを”と休眠している衣服を、リメイク、リフォームなど独特の技術でよみがえらせるための運動を盛り上げる試みで約 1000 人が参加、経済産業省、日本繊維新聞社などが後援とのこと。

講演の冒頭でこの会のことに触れながら、日本のファッション業界のリサイクルへの取り組みは、かならずしも、はかばかしいものではない現状を話されました。

実は、明治以降の日本の繊維産業と同じ長さの歴史が、故繊維産業と呼ばれる繊維リサイクル業界にあること。ボロを原料にスタートした製紙産業、ウエス、反毛の歴史にふれ、現在の故繊維産業はウエス、反毛と海外輸出が主となる中古衣料が 3 本柱になっており、アパレル産業がリサイクルに取り組んでいない一方、こういった産業が存在していた。



こういう歴史背景がありながら繊維リサイクル率は14%に過ぎず、他産業に比べ極めて低く、何も取組んでいないに等しいと言われていたとされ、繊維リサイクルについて現状と今後のシナリオについてお話をいただきました。

9月9日木曜日に開催された第44回フォーラムセミナーでは、出席の皆様全員から自己紹介と近況等についてショートスピーチをお願いし、フォーラムでのディスカッション形式の取り入れの試みを実施しました。

ゲスト講演は、TUVラインランドジャパン社の審査員であり日本労働安全コンサルタント会の理事でもある山室栄三氏から「監査人から見た企業の社会的責任と安全衛生の現状」と題し、充実したお話をいただきました。



はじめに、安全に関わる過去の事故・トラブルからの教訓、企業を取り巻く社会と意識の変化、企業倫理・技術倫理と消費者意識について触れ、日本の災害発生状況の現状について具体的な数値や表で説明されました。その現状総括から、「人に頼らない論理的に考えた技術で作る安全」、「リスクの高い重篤災害防止を重視」、すなわち安全とは危険がないこと、危険の潜在的要因をなくすことへの取り組み、リスクアセスメントを重要視する災害防止活動へと転換されていることを説明されました。

中盤では安全衛生のコンプライアンスについて関係法令とその内容、それに遵ずる管理体制の実施について触れ、安全衛生においては管理するスタッフにのみに責任があるのではなくラインにも責任あるとし、リスクアセスメントの重要性、必要性を具体的に説明いただきました。

後半では山室氏自身が関わったIBMの社会的責任プログラムの実例を、またさらにサプライチェーンCOCの監査時で、適合の基本要件についても触れ、最後に産業安全衛生における社会的責任のありかたを説明され講演を締めくくりました。

## 2010年6月・東京吉岡株式会社がCSM2000導入認証取得



コンプライアンス&サプライチェーン・マネジメントシステムCSM2000の導入活動に取り組んでこられました東京吉岡株式会社・東京事業本部（事業本部・商品流通センター・プリンティングセンター・クリエイティブセンター）は、6月上旬に第三者機関TUVラインランドジャパンによる認証審査を受け、2010年6月4日付け認証書が発行されました。

同事業所は、日本企業の中国事業所を含め、CSM2000認証取得事業所としては13番目、日本国内事業所としては3番目になります。



3月18日の第43回フォーラムセミナーでは同社・CSM2000委員会の会田裕一事務局長からその活動の中間報告がありました。その後さらに導入活動を推進し、審査当日は委員会メンバーと各部署の責任者を中心に真摯な審査がすすめられ、

審査員から高い評価を受けて認証に至りました。

この認証活動および審査についても7月9日第43回フォーラムセミナーでも同社・常務取締役・橋本佳也氏と会田雄一事務局長から更に報告をいただきました。



すべてのお客様に信頼される企業をめざして！  
東京吉岡製品は保証します。CSM2000(包括マネジメントシステム)を基に。



**CSM2000**

Compliance & Supply Chain Management System 2000

「品質総合監査  
マネジメントシステム」

TÜV国際規格認証取得 2010.6.3

「安心・安全」のための重要4項目

●品質への保証 ●環境への対応 ●社会への説明責任 ●安全衛生・健康

---

---

## <第45回 フォーラムセミナー開催のお知らせ>

第45回定期フォーラムセミナーは当初11月11日の予定でしたが、  
下記のように日程変更になりました。

日時 2010年11月12日 金曜 14:00~17:00

セミナー終了後 17:00より懇親会

### [第45回 セミナー内容]

1. ご挨拶 事務局長 近藤繁樹
2. 仮題「安全、安心を目指した『攻めの品質』対応」  
YKK(株)ファスニング事業本部 品質環境センター 品質管理推進室  
室長 田中 肇 氏
3. 「経営倫理研究センターへの寄稿から」  
事務局長 近藤繁樹
4. CSR 関連情報等 事務局 小山洋隆

-----  
懇親会

17:00~

以上

---

---

### 編集後記

- ・ 今回は49号と50号の合併号とさせていただきます。そのため、ニュース対象が3ヶ月分と長めになりまいあしたが、編集させていただきました。
- ・ 次号からは外部からのニュース及び会員各社の関連の掲載ニュースもトピックスとしてとりあげていくつもりで準備を進めております。

HK